

キラリ  
光るまち

はじめに

# 「夜のよして」どぶろくを 飲んでいただければ：



長崎県南島原市  
農家民宿 いちご一会

栗原 義久

南島原市の風景



私達の住む南島原市は、長崎県の南端に位置し、人口は約5万人、雲仙普賢岳を中心に、風光明媚な場所として雲仙天草国立公園や島原半島世界ジオパークに認定されている場所であります。

また、島原の乱終焉の地である「原城跡」やキリシタン大名としても有名な有馬氏の居城跡の「日野江城跡」は長崎の教会群とキリスト教関連遺産の構成資産として世界遺産登録をめざしているなど歴史豊かな地域でもあります。

特産品としては、露地野菜の馬鈴薯や玉葱、施設園芸のイチゴ、トマト、アスパラなど、それに、長崎県のブランド魚である早崎瀬戸あらかぶや鯛、原城ワカメなどがあります。

す。また、全国第2位の生産量を誇る島原手延そうめんも有名でございます。

南島原市では、地域の特色を活かした農林漁業体験民泊事業を推進しており、現在、受入家庭が150軒を数え、関西や関東から中・高校生の修学旅行や、遠くは海外の台湾、中国、韓国、マレーシアなど、トータルで年間1万人を超える受け入れとなっております。

私も平成23年4月に民泊の許可を頂き、今まで約90回、400人位を受け入れております。

おもてなしの中で、食の安心、安全はもとより、体験時の安全、そして海外からの受け入れでは生活習慣と文化の違い、会話とコミュニケーションを取るための言葉の壁など、若干不安になる部分もあります。が、身振り手振りにて楽しみながら、絆づ



農家民宿のふすまには宿泊者からのコメントが...

くりと感動を覚える毎日を送っております。

私の住んでいる140戸弱の集落には、築55年平屋建ての木造校舎の山口小学校がありました。が、昨年3月に閉校になりました。その後、跡地活用委員会を立ち上げ、農家レストラン、体験学習の拠点や地域交流の場を作っていくと話し合いをしております。そういった過疎、限

界集落になりつつある地域で私も5軒の農家が民泊をし始め、受け入れ前のふとん干しや民泊用のノボリ旗を立てますと集落の方々の興味や関心も高まり、おすそ分けの野菜や果物を持って遊びに来られます。

泊まってくれた子供達の笑顔と笑い声、一所懸命さがわかる体験風景等で何か地域に活気が出てきたように感じられます。泊まってくれた人達との絆はもとより、



150軒の受入家庭が民泊という共通の話題やおもてなしの心で繋がり、受入家庭相互の絆に、私も夫婦は、より感動を覚える毎日でございます。

さて、私とどぶろくとの出会いについてですが、どぶろくを製造できるのは、農家民宿や農家レストランを営み、どぶろくの原料になるお米を栽培している事などとお聞きしたことです。それに、私なりに考えたことは、ある意味普通の人と違って新しい物好きで、こちらの方言で「ノボセ者」という条件を提示されたのだと思い、いち早く手をあげることに致しました。

そして、私が好きな名言「酒が一番いいね。貧乏人もお金持ちも同様に酔わせてくれるんだ」を思い出しながら申請を開始したのが平成23年5月でした。

それから6回

程、佐賀県の農家民宿「具座」の藤瀬さん宅へ出向き、税務署への申請や申告の仕方、仕込み方法や火入れ、ビン詰め、ラベル張り、度数の計り方などとあらゆることを学ばせていただきました。また、全

国どぶろく研究大会にも、第7回愛媛大会を初めに、これまで4回連続して参加し、数多くの方々との交流、そして試飲等、勉強をさせていただく機会を得ることができました。

そしてようやく平成25年6月24日に許可をいただき、初めての仕込みは新米でと決めていたこともあり、11月29日に市長や民泊の仲間たちなど150名の参加のもと初蔵出しお披露目会を行うことができました。

すべての方々に感謝をしながら始まったどぶろくの販売については、自宅での販売はもとより、色々なイベントでの出店販売、産地直送による宅配、市内にある道の駅や温泉センター、酒店や居酒屋などへの卸販売と少しずつですが、販路についても軌道にのってきたところでございます。

九州のどぶろく販売会  
(九州のどぶろく製造者の皆さん)

しかしながら、全てにおいて、まだまだ駆け出しのペーペーです。今後は、技術面や販売面それぞれに少しずつ磨きをかけていきたいと思っております。そしてこの民宿に泊まれば、この地域に行けば、どぶろくがあるし、試飲ができ、お土産としても買って帰れると

いうことで、集落と地域の活性化のお役に立ちたいとの思いがございます。

最後になりますが、私のどぶろくのネーミングは「夜のよして」と付けました。私たちの故郷南島原市の方言で「夜通し」という意味でございます。イチゴの収穫や選別作業を終えてから夜のよしてかかって仕込み、ビン詰め作業をし、又、お買い求めいただいたお客様に夜のよして飲んでいただくという思いから命名をさせていただきました。

皆様にも是非、豊かな自然や歴史、美味しい食べ物、そして人情味溢れる人々がいる南島原にお越しいただき、満喫して頂ければ幸いです。心よりお待ちしております。



濁酒「夜のよして」



栗原さん、奥さん